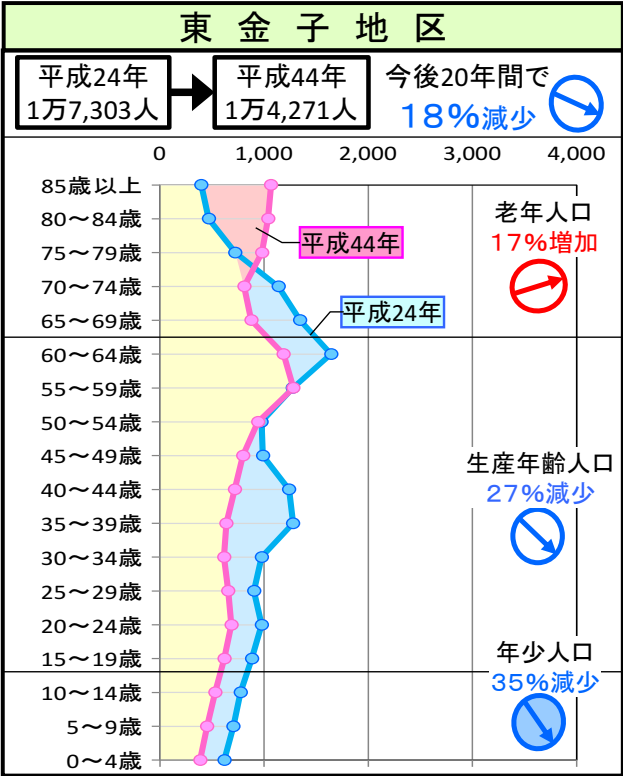


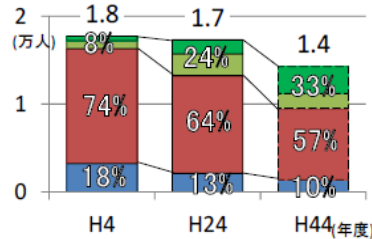
東金子地区の概要

【人口動向】



【人口動向の特徴】

- ・他の地区より高齢化が早かったため、今後20年で高齢者人口のうち、後期高齢者の割合が65%（全体割合は22%）を占めます。
- ・今後は、人口構成の変化による地区住民の新たな利用ニーズを詳細に把握し、地区内に必要な機能の再整備が求められます。



	平成 24 年(比率)	平成 44 年(比率)
老年人口	4,072 人(24%)	4,769 人(33%)
生産年齢人口	11,134 人(64%)	8,134 人(57%)
年少人口	2,097 人(12%)	1,368 人(10%)

【公共施設の配置状況】

施設の種類		施設名
地域対応施設	公民館	東金子公民館
	小学校	東金子小学校、新久小学校
	中学校	東金子中学校
	保育所	東金子保育所
	学童保育室	東金子学童保育室、新久学童保育室
	地区体育館	東金子地区体育館
広域対応施設		青少年活動センター、学校給食センター、総合クリーンセンター、リサイクルプラザ

【施設配置の特徴】

- ・東金子公民館は、支所、地域包括支援センターを併設した複合施設です。
- ・地区内に小学校（学童保育室含む）が2施設あり、統合の対象となります。
- ・広域対応施設としては青少年活動センター、学校給食センター、総合クリーンセンター、リサイクルプラザがあります。

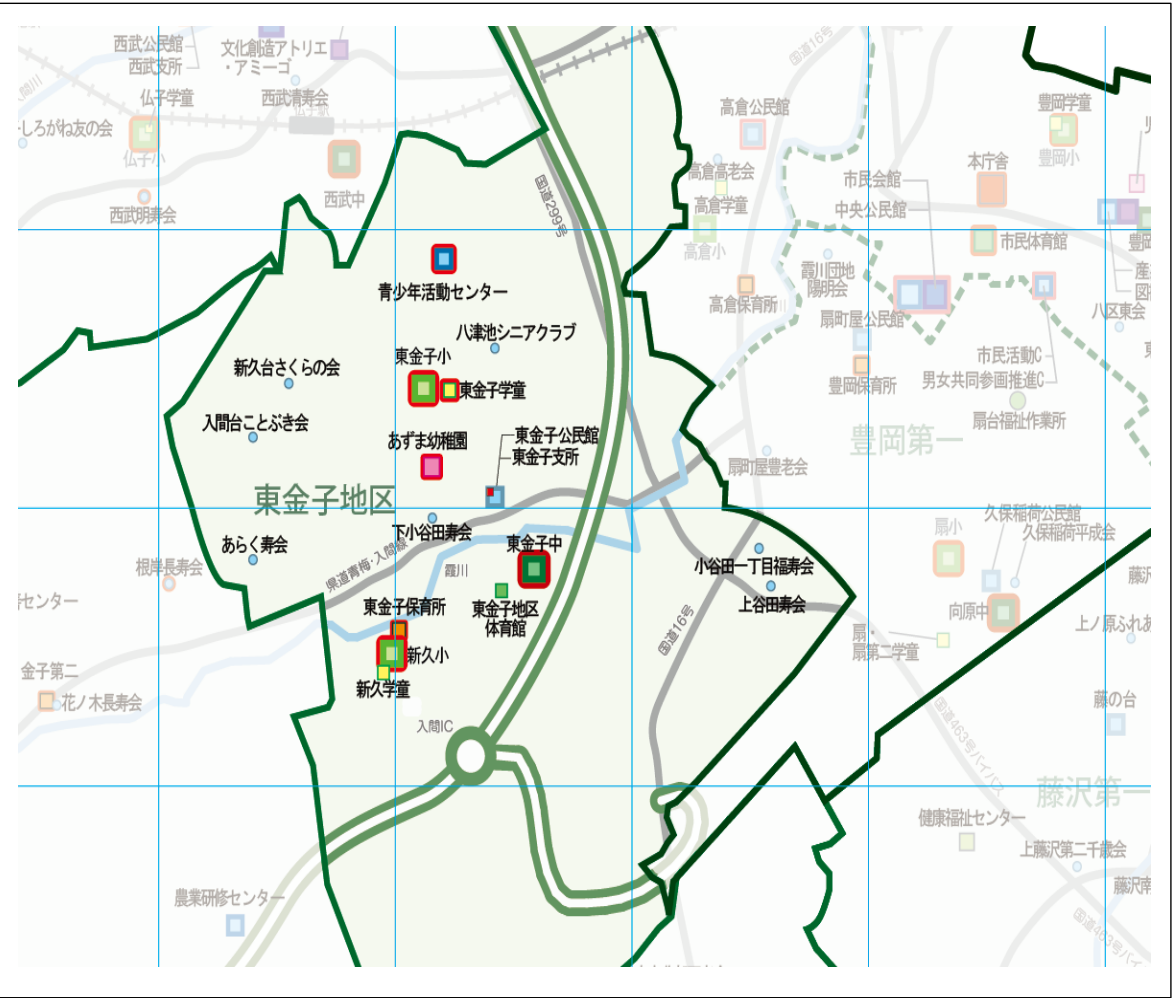
【公共施設の現状と課題】

- ・東金子公民館は、建設から33年が経過しており、今後計画的な改修を行う必要があります。また、施設の稼働率が31%と低いため、改修のタイミングに合わせてニーズにあったサービスや機能の見直しが必要です。
- ・東金子小学校は築49年、新久小学校は築37年となっており、いずれも老朽化しています。特に、東金子小学校については、耐用年数を見据えて、更新を検討する必要があります。児童数については、ピーク時（東金子：25学級・993人）（新久：19学級720人）と比較して、3～4割程度になっており、なお減少傾向にあります。
- ・中学校は築35年となっており、今後計画的な改修を行う必要があります。生徒数については、ピーク時（23学級・921人）と比較して、4割程度となっています。
- ・学童保育室については、定員に対し74.4%（定員90人/入所67人）の入所率であり、5年前と比較すると19%の減少となっています。

【地区の成り立ちと現状、将来の見通し】

- ・地形的には、南部が平坦地、北部が丘陵となっており、森坂地区、牛沢地区は、国道299号や丘陵により地区の中心部から隔てられており、豊岡第三地区（黒須地区）や西武地区などとの結びつきが強い地区です。また、東部の小谷田地区は、豊岡第一地区との結びつきもあります。
- ・東金子地区には鉄道駅がなく、地区の中央部と地区の南部には路線バスが運行されています。
- ・住民は、西武地区にある仏子駅や豊岡地区にある入間市駅へ、徒歩や自家用車など、さまざまな方法でアクセスしています。
- ・農地や山林が地区の多くを占めていますが、南部には昭和30年代から整備が進められた工業団地があります。また、地区の中北部の丘陵地には昭和40年代に開発された大規模な住宅団地が複数あり、工業地、農業地、住宅地が入り組んだ地区となっています。
- ・人口については、昭和40年代に八津池・入間台等の大規模な宅地開発が行われ、人口が急速に増加しました。その後は大きな宅地の開発が行われず、平成10年をピークに市内で初めて人口が減少傾向に転じた地区であり、急激に高齢化が進行している地区でもあります。

【施設配置図】



【公民館の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
東金子公民館	1356.27 ㎡	昭和 59 年	33 年	RC 造	市・個人

- ・老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・敷地の一部が借地となっており、その解消を検討する必要があります。
- ・周辺が住宅地となっており、敷地を拡張する余地は少なくなっています。
- ・地区の中央付近に位置しており、拠点施設としては活用しやすい立地です。

②利用状況

	利用件数	利用者数	稼働率	住民 1 人当たりの年間利用回数	トータルコスト
東金子公民館	2,965 件	36,994 人	31%	1.2 回	4,416 万円

- ・利用者数については、全公民館の平均利用者数の 39,793 人を下回っています。
- ・稼働率は 31%と低く、全公民館の平均稼働率 34%を下回っています。
- ・住民一人当たりの年間利用回数が、全公民館の平均利用回数 3.6 回を大きく下回っています。
- ・トータルコストの平均額 4,383 万円を上回るものの、支所を併設する公民館の中では、西武公民館に次いで 2 番目にコストは低くなっています。ただし、図書館（分館）は併設していないため、単純比較はできません。

【小中学校の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
東金子小学校	6,157.00 ㎡	昭和 43 年	49 年	RC 造	市
新久小学校	5,912.00 ㎡	昭和 55 年	37 年	RC 造	市
東金子中学校	6,825.00 ㎡	昭和 57 年	35 年	RC 造	市

- ・各施設とも築 35 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・小学校が地区内に 2 施設あり、統廃合の対象となります。また、新久小学校は金子地区との境界に近い位置にあります。

②利用状況（各年 5 月 1 日現在）

	平成 24 年度 児童生徒数	平成 24 年度 学級数	平成 29 年度 児童生徒数	平成 29 年度 学級数	児童生徒数 減少率
東金子小学校	350 人	10 学級	335 人	14 学級	4%
新久小学校	306 人	12 学級	294 人	12 学級	3%
東金子中学校	377 人	12 学級	326 人	11 学級	13%

- ・東金子小学校及び新久小学校については、5 年前と比較すると、児童生徒数の減少率は緩やかですが、東金子中学校は 13%と大きな減少率となっています。
- ・金子地区の児童の一部が新久小学校へ通学しています。
- ・小谷田一丁目地区の児童が、地域外の扇小学校へ、牛沢地区の児童・生徒が地域外の黒須小学校、黒須中学校へ通学しています。

【保育所の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
東金子保育所	529.84 ㎡	昭和 48 年	44 年	RC 造	市

- ・築 40 年超と老朽化が進んでおり、更新の検討が必要となっています。
- ・施設の老朽化が児童数の減少につながっている可能性があります。

②利用状況

	定員	平成 24 年度 入所児童数	平成 29 年度 入所児童数	減少率
東金子保育所	90 人	83 人	67 人	19%

- ・入所児童数については、5 年前と比較すると、19%と大きく減少しています。
- ・定員に対して入所児童数が約 7 割となっています。
- ・入所児童数は過去 5 年間で徐々に減少しており、社会全体で待機児童の問題が発生していることを考慮すると、施設配置や運営形態等が市民ニーズに合っていない可能性があるため、調査する必要があります。
- ・地区内には民間保育園が 2 施設所在します。

《東金子地区の検討課題》

- ・地区センターについては、既存の公民館施設の活用を前提に検討します。
- ・小学校及び中学校については、市街化が進んでいる地域であり、今後新たな学校用地となり得る広い土地はないため、既存施設を活用することを前提として検討する必要があります。
- ・学童保育室については、小学校に合わせて統合するとともに、小学校の更新に合わせて複合化を図ります。複合化を図る場合には、小学校敷地内への複合施設棟の建設を検討します。
- ・保育所については、現在の場所での建替えの他、移転についても検討します。なお、移転先については、小学校隣接地や公共施設跡地を含めて検討します。
- ・地域コミュニティによる地区区分と通学区が一部異なっているため、地域の実情に合わせた見直しの協議が必要となります。

※各施設のデータは原則として「公共施設マネジメント白書」から引用